

プロ野球経験者が高校コーチ 資格回復で岡山県内初

津山商高 福井氏(元近鉄)

母校を甲子園に

プロ野球の近鉄などで投手としてプレーした福井保夫氏(62)が7日、母校の津山商高硬式野球部の非常勤コーチに就任した。プロ経験者が学生の指導資格を短期間で回復するため2013年に新設された研修制度を用いる。同制度による資格回復者のコーチ就任は岡山県内の高校で初となる。福井氏は津山市出身。高校時代は甲子園出場はかなわなかったが、本格派右腕として鳴らした。

卒業後、社会人野球の松下電器を経て1974年にドラフト1位で近鉄に入団。現役最終年の広島を含め10年間プレーし、通算2勝3敗1セーブ。引退後は近鉄で6年間、スコアラーを務めた。

5年前から奈良県安堵町で町議、現在は副議長を務める傍ら、「野球を通じ母校に恩返しをしたい」と研修を受け、1月に指導資格を回復した。今後、月2回のペースで来校。交通費は野球部OB会が負担するが、無報



投手を指導する福井保夫氏(右) =津山商高グラウンド

酬で指導する。この日、同高であった就任式の後、福井氏は早速、グラウンドに出て技術指導。投手陣に「ためをつくるフォームや冬場のコンディショニングなどをアドバイスした。67年、同高がセンバツ決定後に一般生徒の不祥事で出場を取り消された時は

中学2年だった福井氏。「われわれ前後の世代は甲子園への思いは強い。実現できるような力を尽くす」と語った。岡山県出身の資格回復者ではほかに、倉敷商高出で元ヤクルト投手の松岡弘氏が北照高(北海道)のコーチを務めている。(稲垣心也)